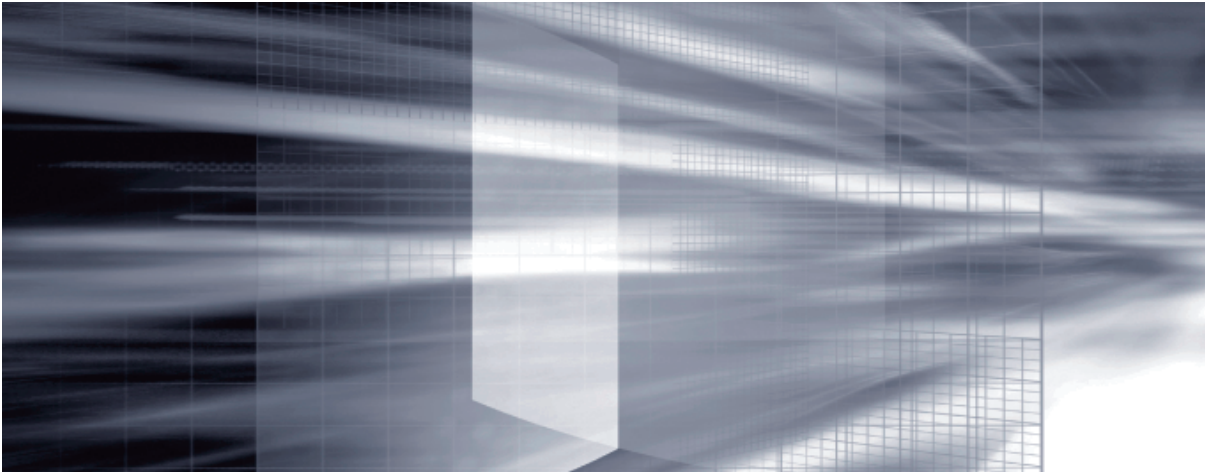


Endeavor AY300

スタートアップガイド



- 1 本機の仕様 [👉](#) p.2
- 2 梱包品を確認する [👉](#) p.3
- 3 コンピューターを設置する [👉](#) p.5
- 4 Windows をセットアップする [👉](#) p.13
- 5 セットアップ後の作業 [👉](#) p.16
- 6 Windows XP 各種設定方法 [👉](#) p.18
- 7 再インストール時の注意事項 [👉](#) p.19
- 8 安全にお使いいただくために [👉](#) p.26

情報マップ [👉](#) 知りたい情報はどこにある? [👉](#) 裏表紙

1 本機の仕様

本機は、Windows XP Professional (Windows Vista Business 正規版からのダウングレード) モデルです。ここでは、本機の仕様について説明します。

ダウングレードモデルの仕様

本機は、Windows XP Professional (Windows Vista Business 正規版からのダウングレード) モデルです。

- 購入時

Windows XP がインストールされています。

- 再インストール時

Windows Vista または Windows XP のどちらかを選択してインストールします。本機には、Windows Vista と Windows XP 両方のリカバリーディスクと再インストール用データが添付されています。

消去禁止領域

HDD の「消去禁止領域」には、再インストール用の本体ドライバーやソフトウェア (Windows Vista 用と Windows XP 用) が収録されています。

消去禁止領域は Windows 上では表示されませんが、Windows XP のインストール中には表示されます。消去禁止領域を削除してしまうと、本体ドライバーやソフトウェアのインストールができなくなりますので、絶対に削除しないでください。

サポートツール

サポートツールは以下のものが添付されています。

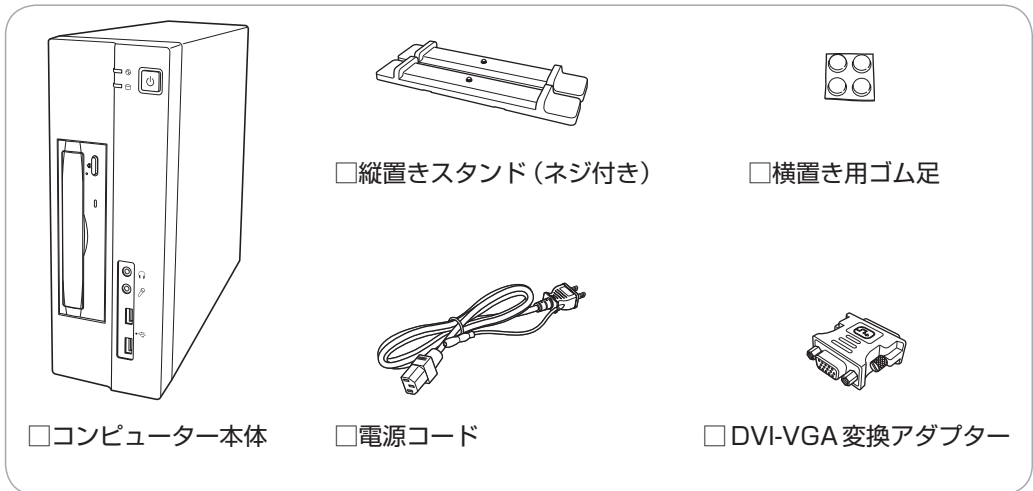
Windows XP : インフォメーションメニュー

Windows Vista : PC お役立ちナビ

2 梱包品を確認する

梱包品がそろっているか確認します。万一、梱包品の不足や不良、仕様違いがありましたら、商品お届け後 8 日以内に受付窓口までご連絡ください。詳しくは、[別冊](#)『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。

1 ハードウェアを確認する



オプション製品は納品書でご確認ください。

2 ディスクを確認する

- Windows XP リカバリー CD
- Windows Vista リカバリー DVD
- リカバリーツール CD

※ 本機のドライバーやソフトウェアのインストール用データは、HDD の消去禁止領域に収録されているため、ディスクは添付されていません。

3 マニュアルを確認する

- スタートアップガイド (本書)
- サポート・サービスのご案内

※ 次のマニュアルは、「インフォメーションメニュー」の「マニュアルびゅうわ」から見ることができます。

- ユーザーズマニュアル Vista 用 (PDF) ※ XP 用は添付されていません。
- セキュリティソフトウェアをご使用前に (PDF)
- 光ディスクドライブ取扱説明書 (PDF)



参考

保証書について

当社では、ご購入日や保証サービスなどのお客様情報をデータベースで登録・管理しています。このため、保証書は添付されていません。

4

貼付ラベルを確認する

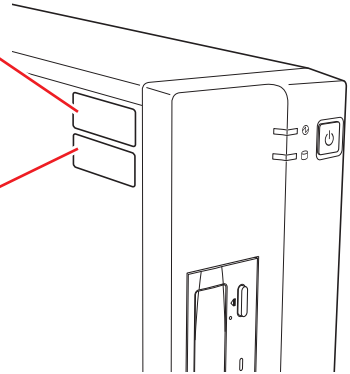


制限

ラベルは絶対にはがさないでください。

- COA ラベル
(Certificate of Authenticity ラベル)
正規の Windows 商品であることを証明するラベルです。

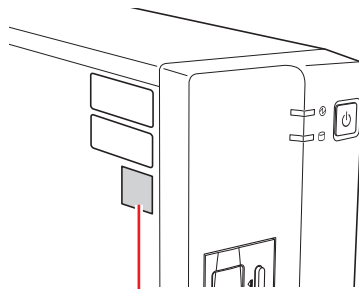
- 製造銘板
本機の型番や製造番号が記載されています。
製造番号はお問い合わせの際に必要です。
別冊『サポート・サービスのご案内』の表紙に
書き写しておいてください。



5

PCリサイクルマークシールを貼る

本機の梱包箱に、「PC リサイクルマークシール在中」と書かれたシートが付いている場合は、シートの「PC リサイクルマークシール」を本機の次の場所に貼ってください。
PC リサイクルマークシールは、コンピューターの廃棄時に必要です。PC リサイクルマークシール付きの当社製コンピューターは、当社が無償で回収・再資源化を行います。



PC リサイクルマーク
シール貼付場所



PCリサイクルマークシール

3 コンピューターを設置する

本機を設置し、使用できる状態にする手順を説明します。プリンターなどの周辺機器の接続や、インターネットへの接続は、Windows のセットアップ完了後に行ってください。

設置における注意



注意

- 不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。
- 本機の通風孔をふさがないでください。
通風孔をふさぐと、内部に熱がこもって本機が熱くなり、火傷や火災の原因となります。設置の際は、次の点を守ってください。
 - ・ 押し入れや本箱など風通しの悪いところに設置しない。
 - ・ じゅうたんや布団の上に設置しない。
 - ・ 毛布やテーブルクロスのような布をかけない。

各種コード（ケーブル）接続時の注意



警告

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源コードのたこ足配線はしないでください。発熱し、火災の原因となります。家庭用電源コンセント（交流 100V）から電源を直接取ってください。
- 電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。取り扱いを誤ると、火災の原因となります。
 - ・ 電源プラグは、ホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
 - ・ 電源プラグは刃の先まで確実に差し込む。



注意

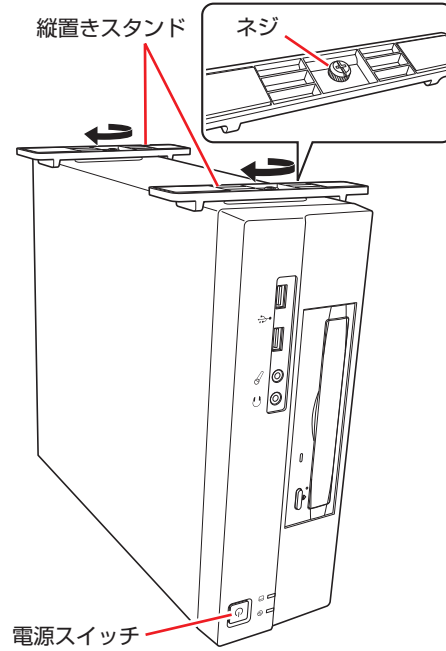
各種コード（ケーブル）は、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。配線を誤ると、火災の危険があります。

1 本機を縦置きまたは横置きどちらにするか決め、設置準備を行います。

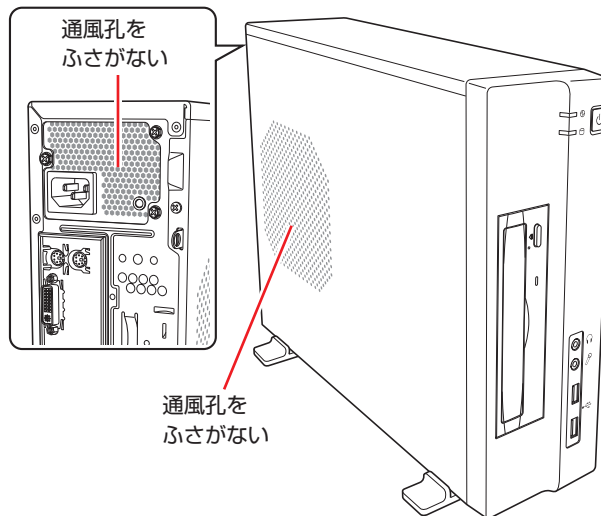
縦置きにする場合

転倒防止のため、必ず縦置きスタンドを取り付けてください。

- ① 電源スイッチ側を下にして置き、縦置きスタンドを取り付けます。

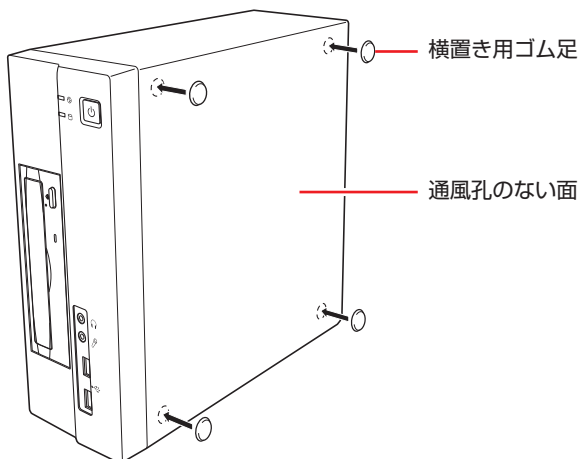


- ② 縦置きスタンドを下にして置きます。

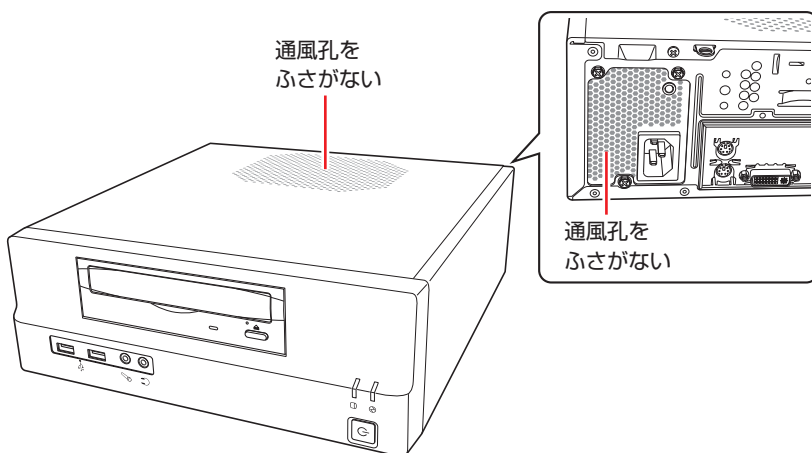


横置きにする場合

- 1 横置き用ゴム足（4個）を取り付けます。



- 2 ゴム足を付けた面を下にして置きます。

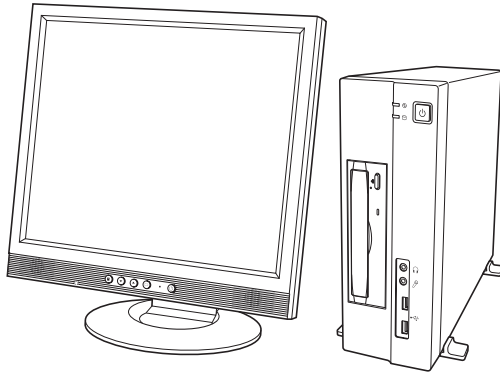


制限

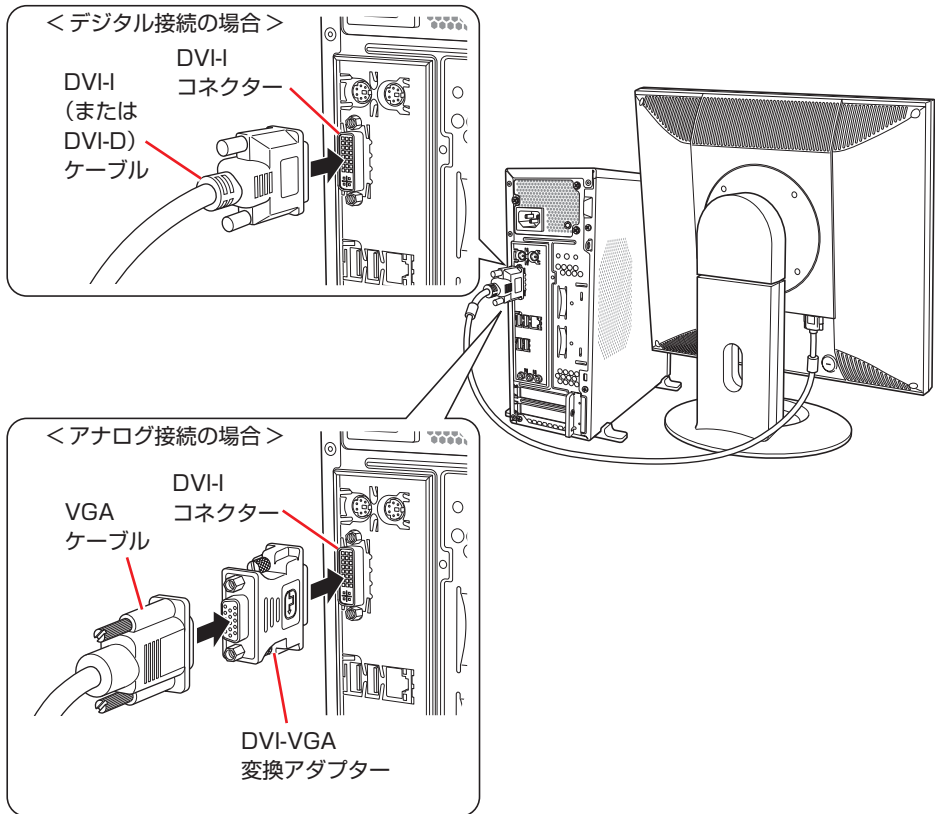
- 本機の上に載せられるディスプレイの重さは、18kg までです。18kg より重いディスプレイは載せないでください。
- 本機の上にディスプレイを載せるときは、通風孔をふさがないようにしてください。



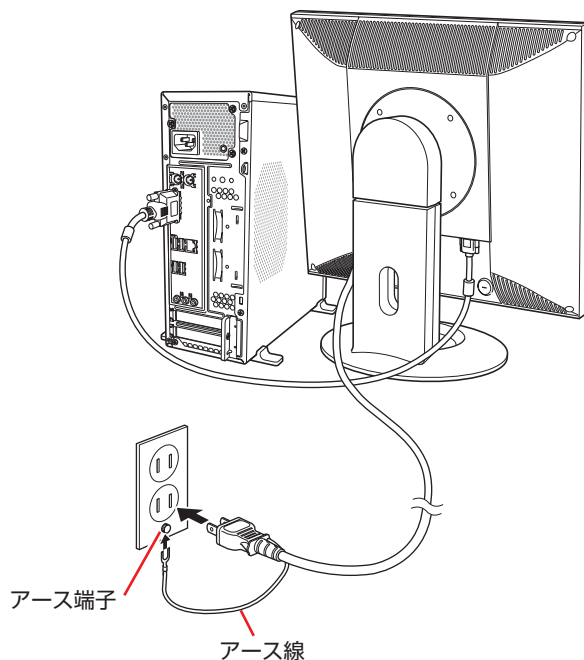
- 2** 本機とディスプレイを設置場所（丈夫で水平な台の上など）に置きます。
以降は、縦置きを例にして説明します。



- 3** ディスプレーのケーブルを本機背面の DVI-I コネクター（**LCD**）に接続します。
ディスプレイ側の接続方法や注意事項などの詳細は、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

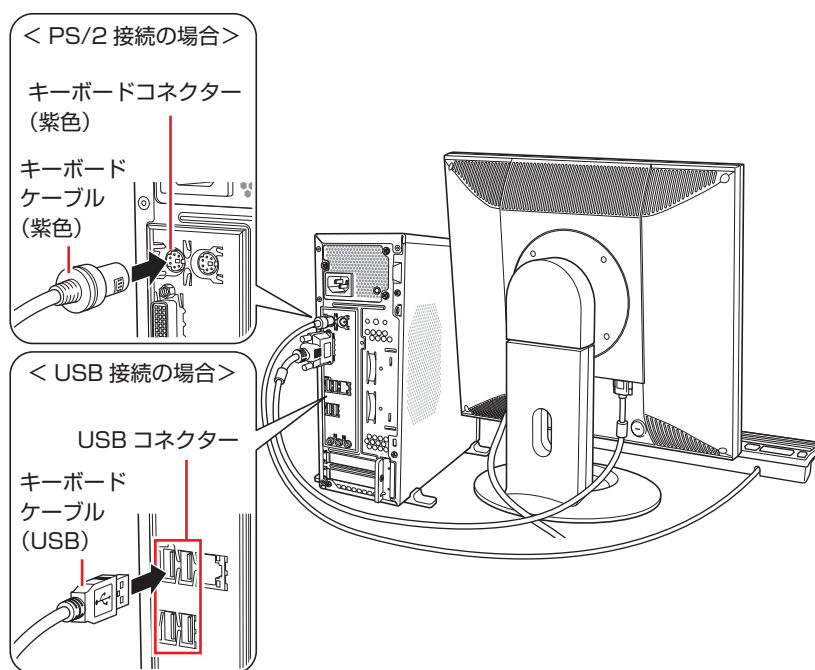


4 ディスプレーの電源コードを接続します。

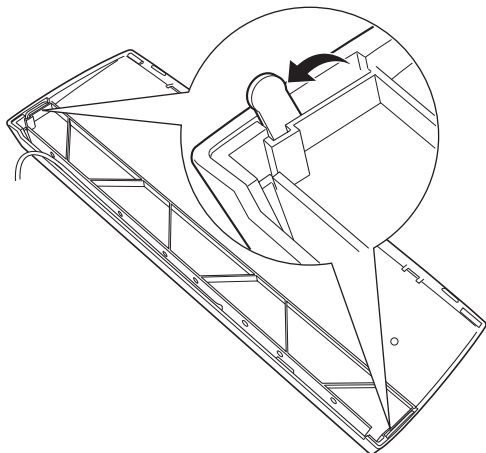


5 キーボードを接続します。

ここでは一般的な接続方法を説明しています。お使いになるキーボードにマニュアルが添付されている場合は、そちらをご覧ください。

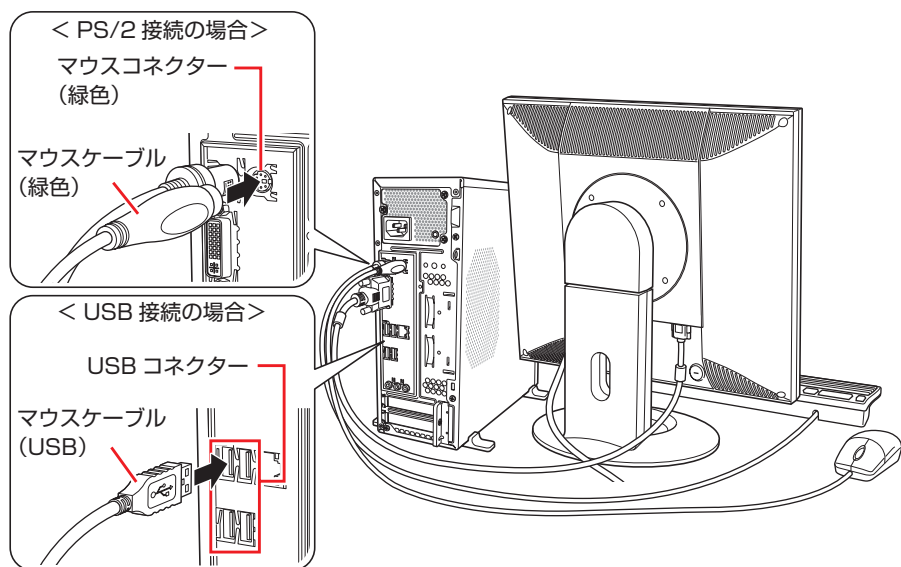



キーボードは操作しやすい位置に置き、傾斜させるときはキーボード底面の両端の脚を起こします。



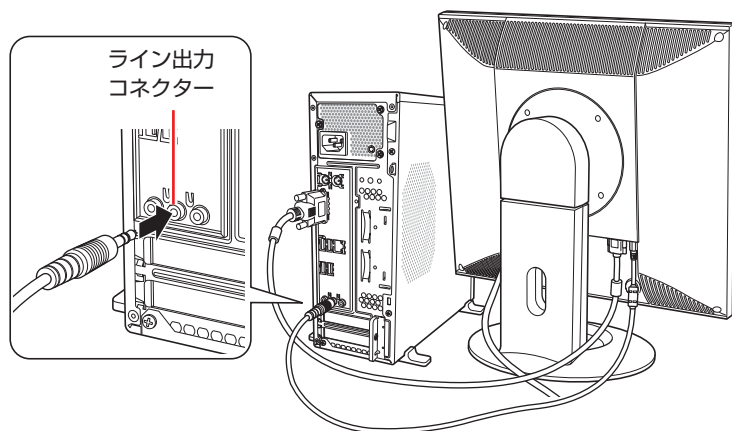
6 マウスを接続します。

ここでは一般的な接続方法を説明しています。お使いになるマウスにマニュアルが添付されている場合は、そちらをご覧ください。



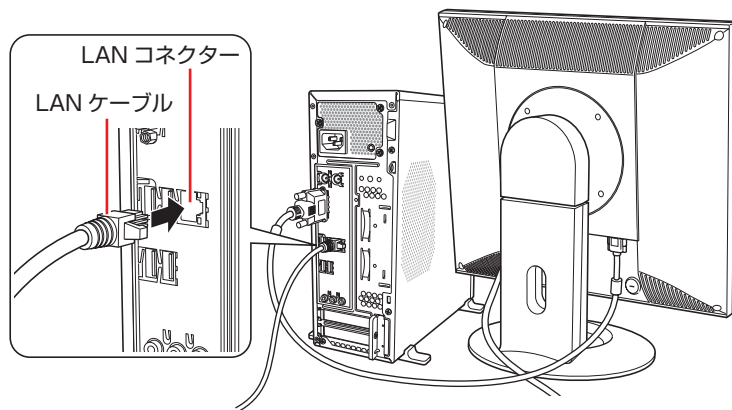
7 音声を出力する場合は、ディスプレイやスピーカーのオーディオケーブルを、本機背面のライン出力コネクター（）に接続します。

詳しくはディスプレイやスピーカーに添付のマニュアルをご覧ください。

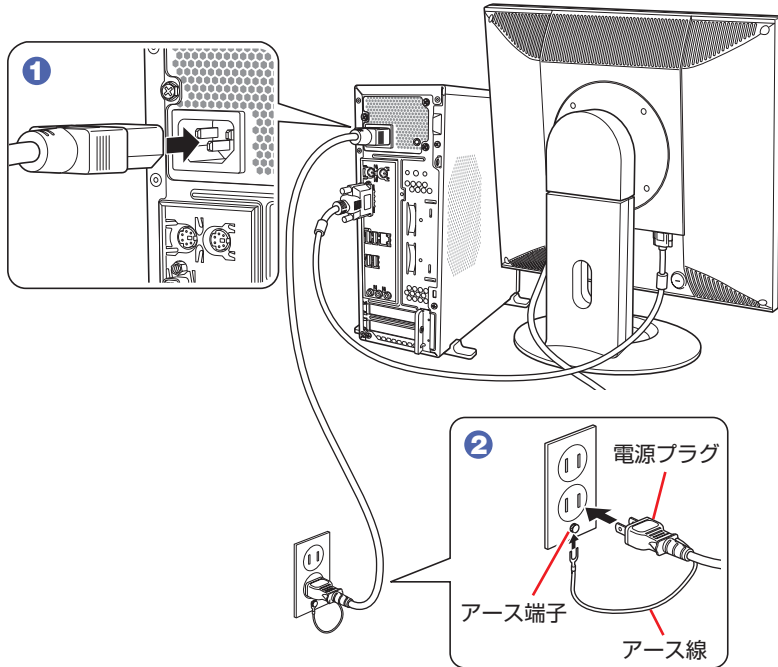


8 ネットワークを使用する場合は、市販のLANケーブルを本機背面のLANコネクター（）に接続します。

インターネットへの接続作業は、Windowsのセットアップ後に行います。



9 本機の電源コードを接続します。



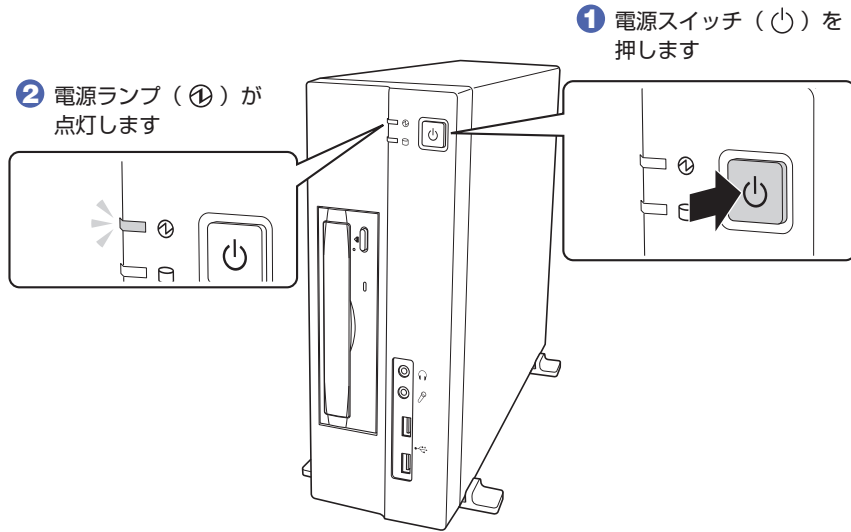
続いて、Windows のセットアップを行います。

4 Windows をセットアップする

コンピューターの電源を入れて、Windows を使用できる状態にするまでの手順を説明します。

1 ディスプレーの電源を入れます。

2 本機の電源を入れます。



画面に「EPSON」と表示され、しばらくすると Windows のセットアップ画面が表示されます。



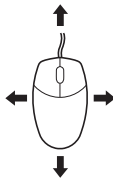
参考

● 画面が表示されないときは

ディスプレイが正しく接続されているか、ディスプレイの電源が入っているか、電源コードは正しく接続されているか、確認してください。

● マウスの操作

マウスを前後左右に動かして、セットアップ画面のポインターを操作します。

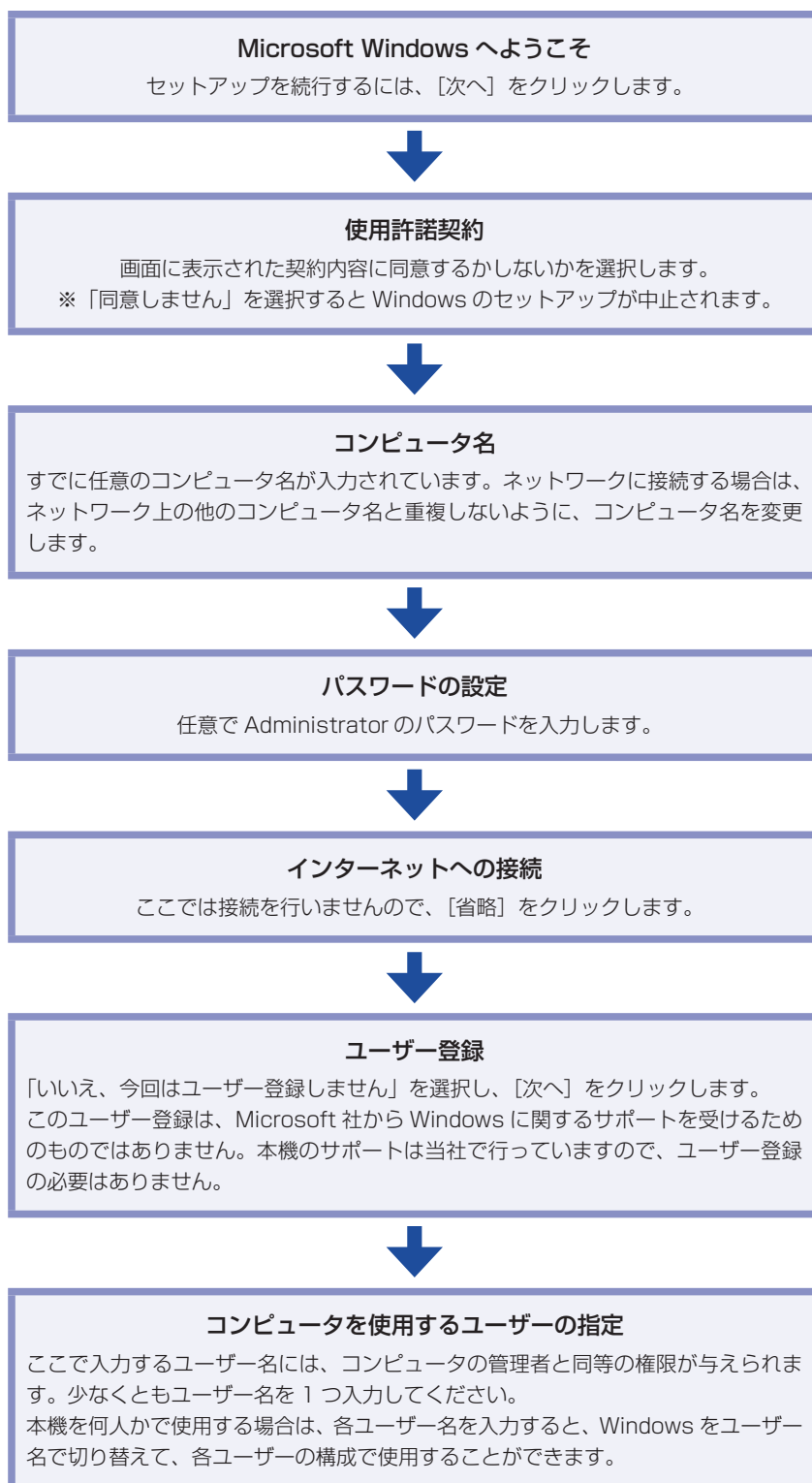


「クリック」は、ポインターを画面上の対象にあわせて、マウスの左ボタンを「カチッ」と押します。



3 Windows のセットアップを行います。

電源を入れた後、しばらくすると自動的に「Windows XP セットアップ」画面が表示されます。画面の指示に従って、セットアップを行ってください。セットアップの流れは、次のとおりです。





セットアップの完了

[完了] をクリックすると、自動的に Windows が再起動して、「初期設定ツール」画面が表示されます。

4

「初期設定ツール」画面では、画面のフローに従って、セキュリティソフトウェアのインストールなどを行います。

画面の記載事項はすべてお読みください。スクロールバーのノブを一番下まで移動させて、すべての内容を表示させないと、[次へ] がクリックできません。



<イメージ>

続いて、セットアップ後の作業を行います。



参考

● ユーザー登録

セットアップ中にスキップしたユーザー登録は、[スタート] - 「ファイル名を指定して実行」 - 「REGWIZ □ /R」（□はスペース）で行うことができます。ウィザード画面の指示に従ってください。

● ライセンス認証

購入時に本機にインストールされている Windows や、添付のリカバリーディスクから再インストールを行った Windows は、ライセンス認証を行う必要はありません。

● 「初期設定ツール」画面を表示するには

Windows 再起動後に画面が表示されない場合や、画面を再表示したい場合は、次の場所からツールを起動することができます。

[スタート] - 「すべてのプログラム」 - 「初期設定ツール」

● 画面表示が消えたときは

本機は、一定時間操作をしないと省電力機能が働いて、画面表示が消えるように設定されています。画面表示が消えて電源ランプが緑色に点滅している場合は、スリープ状態になっています。電源スイッチを押すと元に戻ります。


5 セットアップ後の作業

Windows のセットアップと初期設定ツールの設定が完了したら、次の作業を行います。

Windowsの操作方法を確認する

Windows の操作方法は、次の場所をご覧ください。

【スタート】 - 「ヘルプとサポート」


 「インフォメーションメニュー」 - 「PC お役立ち情報」

インターネットに接続する

インターネットへの接続は、プロバイダーから提供されたマニュアルを参照して行ってください。

本機に関する情報や最新のドライバーを入手する

当社ユーザーサポートページには、本機の最新ドライバーや使用方法に関する情報が掲載されています。インターネットに接続したら、ユーザーサポートページをご確認ください。

 「インフォメーションメニュー」 - 「ユーザーサポートページ (Web)」

本機の最新ドライバーは、次のページからダウンロードできます。

<http://www.epsondirect.co.jp/support/redirect.htm?content=AY300>

オプション品のドライバー/ユーティリティをインストールする

本機と同時に、マウスやキーボードなどのオプション品を購入された場合、オプション品によっては、ドライバーやユーティリティをインストールする必要があります。

ドライバー / ユーティリティのインストールが必要なオプション品

ドライバーやユーティリティのインストールが必要なオプション品は、下記のページでご確認ください。

<http://www.epsondirect.co.jp/support/redirect.htm?content=AY300>

オプション品ドライバー / ユーティリティのインストール方法

オプション品のドライバーやユーティリティは、次のどちらかの方法でインストールしてください。

- 添付の CD-ROM からインストールする

オプション品に添付の CD-ROM からドライバー / ユーティリティをインストールします。

- Web からダウンロードしてインストールする

Web からドライバー / ユーティリティをダウンロードしてインストールします。

詳しくは下記のページをご覧ください。

<http://www.epsondirect.co.jp/support/redirect.htm?content=AY300>

ソフトウェアをインストールする

ソフトウェアを使用する場合は、ソフトウェアのマニュアルを参照してインストールを行ってください。

周辺機器を接続する

プリンターなどの周辺機器を使用する場合は、周辺機器に添付のマニュアルを参照して接続を行ってください。

Windows やソフトウェアのアップデートをする


インターネットに接続し、必要なソフトウェアをインストールしたら、Windows やソフトウェアを最新の状態にするため、アップデートを行います。

アップデートについての詳細は、次の場所をご覧ください。


- Windows

[スタート] - 「ヘルプとサポート」

- Norton Internet Security 90 日版


 「インフォメーションメニュー」 - 「マニュアルびゅうわ」 - 「セキュリティソフトウェアをご使用の前に」 (PDF)

- そのほかのソフトウェア

 ソフトウェアに添付のマニュアル


古いコンピューターからデータを移す

今までお使いのコンピューターのデータを本機へ移す方法は、次の場所をご覧ください。

 「インフォメーションメニュー」 - 「ユーザーサポートページ (Web)」
- 「FAQ 番号 : 11452」

6 Windows XP 各種設定方法

本機に Windows XP のマニュアルは添付されていません。Windows XP の各種設定方法は、ユーザーサポートページの Windows XP 用コンテンツをご覧ください。

 「インフォメーションメニュー」 - 「ユーザーサポートページ (web)」
- 「FAQ 番号 : 29053」



各種設定方法を
クリック

<イメージ>

7 再インストール時の注意事項

ダウングレードモデルでソフトウェアの再インストール（リカバリー）をする場合の注意事項について説明します。

再インストール時は、「ユーザーズマニュアル Vista 用」(PDF) – 「ソフトウェアの再インストール」もあわせてご覧ください。

ソフトウェアの再インストール手順

再インストールの際は、Windows Vista または Windows XP どちらかを選択してインストールします。

Windows Vista の場合

「ユーザーズマニュアル Vista 用」(PDF) – 「ソフトウェアの再インストール」をご覧ください。

※ 「ソフトウェアの再インストール」部分を事前に印刷しておくことをおすすめします。

Windows XP の場合

Windows XP のインストール

Windows XP のインストールは、次の手順で行ってください。

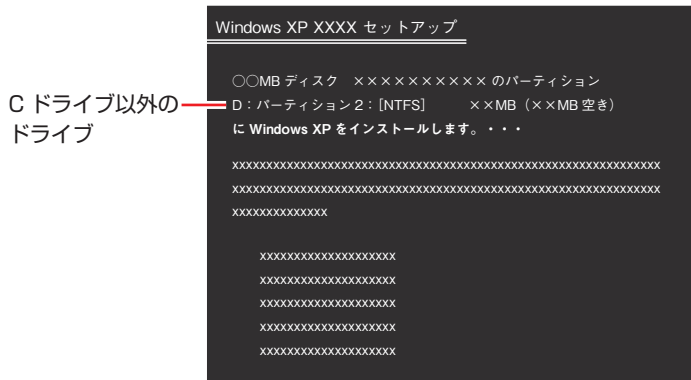
- 1** Windows が起動した状態で「Windows XP リカバリー CD」を光ディスクドライブにセットします。
- 2** コンピューターを再起動します。
- 3** 「EPSON」と表示後、黒い画面に「Press any key to boot from CD.」と表示されたら、どれかキーを押します。

一定時間内にキーを押さないと、HDD 内の Windows が起動してしまいます。Windows が起動してしまった場合は、**2**に戻ります。**4**の画面が表示されるまでしばらく時間がかかります。



4 HDD の領域が複数ある場合は、次の画面が表示されます。この場合は、必ず **Esc** を押します。

HDD 領域が 1 つ (C ドライブのみ) の場合、この画面は表示されません。**5** に進みます。

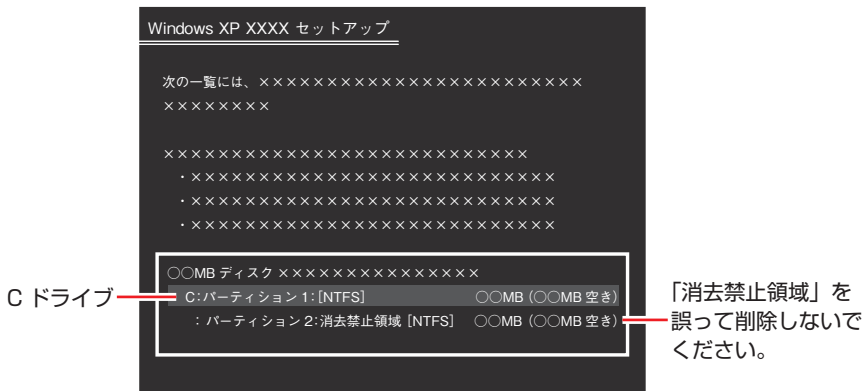


上の画面では必ず **Esc** を押して、C ドライブに Windows をインストールしてください。**←** を押してしまうと、C ドライブ以外のドライブに Windows がインストールされ、そのドライブに収録されているデータはすべて消えてしまいます。注意してください。

5 「次の一覧には、このコンピュータ上の既存のパーティションと未使用の領域が表示されています。・・・」と表示されたら、次のとおり作業を続けます。

領域変更を行わない場合 (通常)

- 1** C ドライブが選択されていることを確認し、**←** を押します。



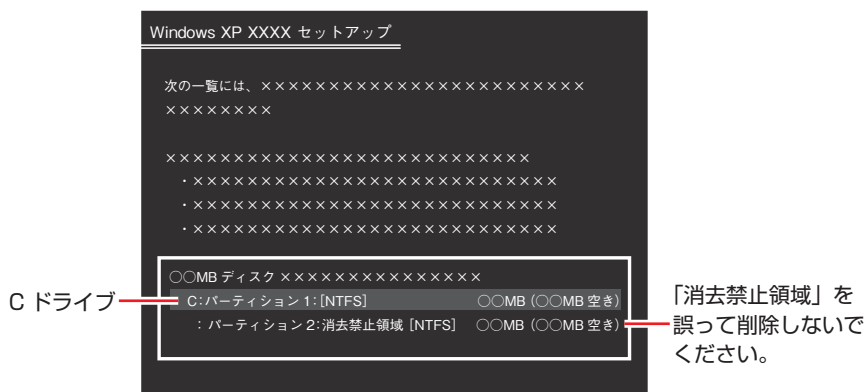
一覧に表示されている「消去禁止領域」は本体ドライバーやソフトウェアの再インストールに使用する領域です。絶対に削除しないでください。

- 2** HDD の領域が複数ある場合、「別のオペレーティングシステムのあるパーティションに・・・」と表示されたら、**C** を押します。
HDD の領域が 1 つの場合は、上記は表示されませんので、次の手順に進みます。
- 3** 「・・・に Windows (XP) をインストールします。」と表示されたら、「NTFS ファイルシステムを使用してパーティションをフォーマット」を選択し、**←** を押します。
「現在のファイルシステムをそのまま使用 (変更なし)」を選択すると、C ドライブに Windows が追加登録されてしまいます (Windows が複数になります) ので注意してください。

- 4 「警告:このドライブをフォーマットすると…」と表示されたら、**[F]** を押します。
[6] に進みます。

領域変更を行う場合






- 1 C ドライブを選択し、**[D]** (削除) を押します。



一覧に表示されている「消去禁止領域」は本体ドライバーやソフトウェアの再インストールに使用する領域です。絶対に削除しないでください。

- 2 「削除しようとしたパーティションは…」と表示されたら、**[↵]** を押します。
- 3 「○○ MB ディスク××から次のパーティションを削除します。…」と表示されたら **[L]** を押します。
ドライブが未使用の領域になります。
- 4 すでに HDD が分割されていて、C ドライブの容量を増やす場合は、そのほかのパーティションも C ドライブと同様に削除し、「未使用の領域」を増やします。
ただし、削除したドライブのデータは消えてしまいますので、注意してください。
- 5 「未使用の領域」を選択して **[C]** を押します。
- 6 C ドライブの容量を決めます。「○○ MB ディスク××に新しいパーティションを作成します。」と表示されたら、「作成するパーティションのサイズ (MB)」に表示されている数字を **[Back space]** で削除し、任意の数値を入力して **[↵]** を押します。
C ドライブには、20GB (20000MB) 程度を割り当てることをおすすめします。
- 7 「次の一覧には、このコンピュータ上の…」と表示されたら、「C:パーティション 1:[未フォーマット]」を選択して **[↵]** を押します。
未使用の領域は、ここではフォーマットできません。インストール後「ディスクの管理」で行います。
- 8 「選択されたパーティションはフォーマットされていません。」と表示されたら、「NTFS ファイルシステムを使用してパーティションをフォーマット」を選択し、**[↵]** を押します。
[6] に進みます。



- 6** フォーマットと、ファイルのコピーが行われます。終了すると、自動的にコンピューターが再起動します。
- 7** 「ライセンス契約」が表示されたら、契約内容に同意するかしないかを選択し、[次へ]をクリックします。
「同意しません」を選択すると、Windows XP のインストールが中止されます。
- 8** 「ソフトウェアの個人用設定」と表示されたら、「名前」と「組織名」を入力し、[次へ]をクリックします。
「名前」は必ず入力してください。
- 9** 「コンピュータ名・・・」と表示されたら、必要な項目を入力し、[次へ]をクリックします。
- 10** 「日付と時刻の設定」と表示されたら、表示内容を確認し、[次へ]をクリックします。
本機設置場所の日付と時刻の設定を行います。
- 11** 再起動後に「ディスプレイの設定」画面が表示されたら、[OK] をクリックします。
- 12** 「モニタの設定」画面が表示されたら、[OK] をクリックします。
- 13** 「Microsoft Windows へようこそ」と表示されたら、画面右下の  (次へ) をクリックします。
- 14** 「コンピュータを保護してください」と表示されたら、自動更新を有効にするかどうかを選択し、画面右下の  (次へ) をクリックします。
インターネットに接続している環境の場合は、自動更新を有効にすることをおすすめします。
- 15** 「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」と表示されたら、ユーザー名を入力し、画面右下の  (次へ) をクリックします。
ユーザー名を少なくとも 1 つ入力してください。
- 16** 「設定が完了しました」と表示されたら、画面右下の  (完了) をクリックします。
- 17** Windows XP のデスクトップ画面が表示されたら、「Windows XP リカバリー CD」を取り出します。
これで Windows XP のインストールは完了です。
- 18** **5** で HDD 領域 (C ドライブ) を変更した場合は、「未使用の領域」に領域 (パーティション) の作成を行います。
領域 (パーティション) の作成は、ドライバーやソフトウェアのインストールが完了してから行っても構いません。
 p.24 「HDD 領域 (パーティション) の作成手順」

ドライバー・各種ソフトウェアのインストール

ドライバーや各種ソフトウェアのインストール方法は、次のとおりです。

1 リカバリーツールをインストールします。

- 1 「リカバリーツール CD」を光ディスクドライブにセットします。
正しくセットされると自動的に「リカバリーツールセットアップへようこそ」画面が表示されます。表示されない場合は、[スタート] - 「マイコンピュータ」 - 「EPSON_CD」をダブルクリックします。
- 2 以降は画面の指示に従ってインストールしてください。
インストールが完了すると、デスクトップ上に「リカバリーツール」アイコンが表示されます。



<リカバリーツールアイコン>

- 3 「リカバリーツール CD」を光ディスクドライブから取り出します。
アイコンが正常に表示されない場合は、コンピューターを再起動してください。

2 本体ドライバーや各種ソフトウェアをインストールします。

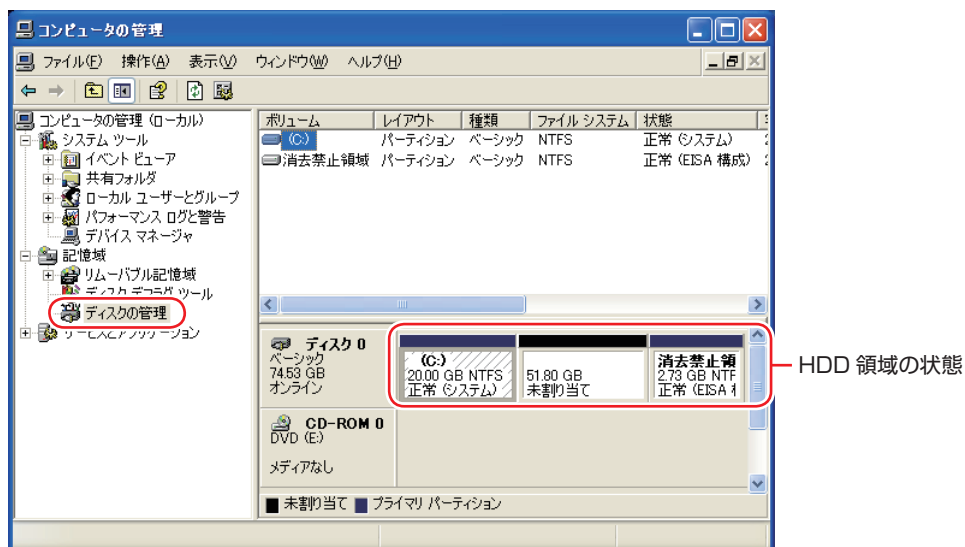
- 1 デスクトップ上の「リカバリーツール」アイコンをダブルクリックします。
- 2 「リカバリーツール」画面が表示されたら、[インストール] をクリックします。
本体ドライバーやソフトウェアの一覧の画面が表示されます。
- 3 一覧の中からインストールする項目を選択して、[インストール] をクリックします。
以降は画面の指示に従ってインストールを行ってください。

HDD 領域（パーティション）の作成手順

HDD 領域を作成する手順は、次のとおりです。

- 1 「スタート」－「コントロールパネル」－「パフォーマンスとメンテナンス」－「管理ツール」－「コンピュータの管理」をダブルクリックします。
- 2 「コンピュータの管理」画面が表示されたら、画面左下の「ディスクの管理」をクリックします。

画面右下のウィンドウに HDD 領域の状態が表示されます。



- 3 パーティションを設定したい「未割り当て」を右クリックして、表示されたメニューから「新しいパーティション」をクリックします。
- 4 「新しいパーティションウィザードの開始」と表示されたら、[次へ]をクリックします。
- 5 「パーティションの種類を選択」と表示されたら、「プライマリパーティション」または「拡張パーティション」を選択して [次へ] をクリックします。
通常はプライマリパーティションを選択します。
- 6 「パーティションサイズの指定」と表示されたら、サイズを指定して [次へ] をクリックします。

5 でプライマリパーティションを選択した場合は、12 へ進みます。

- 7 「新しいパーティションウィザードの完了」と表示されます。[完了] をクリックします。

拡張パーティションを作成した領域は、「空き領域」として表示されます。



続いて「空き領域」に論理ドライブを作成します。

- 8** 「空き領域」を右クリックして、表示されたメニューから「新しい論理ドライブ」をクリックします。
- 9** 「新しいパーティションウィザードの開始」と表示されたら、[次へ]をクリックします。
- 10** 「パーティションの種類を選択」と表示されたら、「論理ドライブ」が選択された状態で、[次へ]をクリックします。
- 11** 「パーティションサイズの指定」と表示されたら、「パーティションサイズ」に任意の値を入力して [次へ] をクリックします。
複数の論理ドライブを作成する場合は、画面に表示されている「最大ディスク領域」以下の値を入力します。
- 12** 「ドライブ文字またはパスの割り当て」と表示されたら、「次のドライブ文字を割り当てる」で任意のドライブレターを選択して、[次へ]をクリックします。
「ドライブレター」は、ドライブの識別記号になります。
- 13** 「パーティションのフォーマット」と表示されたら、「このパーティションを以下の設定でフォーマットする」が選択された状態で [次へ] をクリックします。
表示されている設定値を変更する必要はありません。
- 14** 「新しいパーティションウィザードの完了」と表示されたら、[完了] をクリックします。
自動的にフォーマットが行われます。
フォーマットが終了したら、HDD 領域の作成は完了です。
複数の論理ドライブを作成する場合は、**8** ~ **14** の作業を繰り返します。


8 安全にお使いいただくために

このマニュアルおよび製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために絵表示が使われています。




その表示と意味は次のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 障害や事故の発生を防止するための禁止事項の内容を表しています。

	製品の取り扱いにおいて、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
---	-------------------------------------

- 障害や事故の発生を防止するための指示事項の内容を表しています。

	必ず行う事項（指示、行為）を示しています。
	電源プラグをコンセントから必ず抜くことを示しています。
	アース端子を接地（アース）することを示しています。

警告



交流 100V 以外の電源は、使用しないでください。
交流 100V 以外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、電源プラグをさわらないでください。
感電の原因となります。



電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。
取り扱いを誤ると、火災の原因となります。

- ・電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
- ・電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。
- ・電源プラグを長期間コンセントに差したままにしない。

電源プラグは、定期的にコンセントから抜いて、刃の根元や刃と刃の間を清掃してください。



電源コードのたこ足配線はしないでください。
発熱し、火災の原因となります。
家庭用電源コンセント（交流 100V）から電源を直接取ってください。



破損した電源コードを使用しないでください。感電・火災の原因となります。
電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。

- ・電源コードを加工しない。
- ・無理に曲げたり、ねじったり、引っばったりしない。
- ・電源コードの上に重いものを載せない。
- ・発熱器具の近くに配線しない。

電源コードが破損したら、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、[別冊](#)『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。



本機から異臭や異音がする、発煙するなど、異常状態のまま使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。
すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、[別冊](#)『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。
お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。



通風孔など開口部から、本機内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災の原因となります。

警告



水などの液体や異物が本機内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、[別冊](#)『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。



光ディスクドライブで、ひび割れや変形補修したメディアを使用しないでください。

飛び散って、けがをする危険があります。



本機の分解・改造や、マニュアルで指示されている以外の増設・交換はしないでください。

けが・感電・火災の原因となります。



装置の増設・交換などをするときには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜かないで作業すると、感電や火傷の原因となります。



小さなお子様の手の届く場所で、内蔵リチウム電池の着脱、保管をしないでください。

飲み込むと化学物質による被害の原因となります。

万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。



小さなお子様の手の届くところに、マウスボールやボールフレームを取り外したまま放置しないでください。

口に入れたりすると窒息する危険があります。



マウスボールは、絶対に投げないでください。

マウスボールの芯には鋼球が入っていますので、人に当たるとけがをする危険があります。



アルコール、シンナー、ガソリンなど揮発性可燃物質または可燃性ガスのある場所では使用しないでください。

また、本機の内部や周囲で可燃性ガス含有のスプレーを使用しないでください。

火災の原因となります。



電源プラグのアース端子を接地（アース）してください。

接地しないで使用すると、感電の危険性があります。

アースは必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。



アース端子は、絶対にガス管に接続しないでください。

火災の原因となります。



アース端子は、コンセントに挿入または接触させないでください。

感電の危険があります。

⚠ 注意



小さなお子様の手の届く所に設置、保管しないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。



不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。



湿気やホコリの多い場所に置かないでください。
感電・火災の危険があります。



本機の通風孔をふさがないでください。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の危険があります。
設置する際は、次の点を守ってください。

- ・押し入れや本箱など風通しの悪いところに設置しない。
- ・じゅうたんや布団の上などに設置しない。
- ・毛布やテーブルクロスのような布をかけない。



各種コード（ケーブル）は、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。
配線を誤ると、火災の危険があります。



装置の増設・交換は、本機の内部が高温になっているときには行わないでください。火傷の危険があります。
本機の電源を切って 10 分以上待ち、内部が十分冷めてから作業を行ってください。



ヘッドフォンやスピーカーは、ボリュームを最小に調節してから接続し、接続後に音量を調節してください。
ボリュームの調節が大きくなっていると、思わぬ大音量により聴覚障害の原因となります。



光ディスクドライブのディスクトレイに手を入れ、挟まれないようにしてください。
けがの原因となります。



長時間または不自然な姿勢でのコンピューター操作は避けてください。
肩こり、腰痛、目の疲れ、腱鞘炎などの原因となります。



本機を移動する場合は、電源を切り、本機からすべての配線を取り外してください。

注意



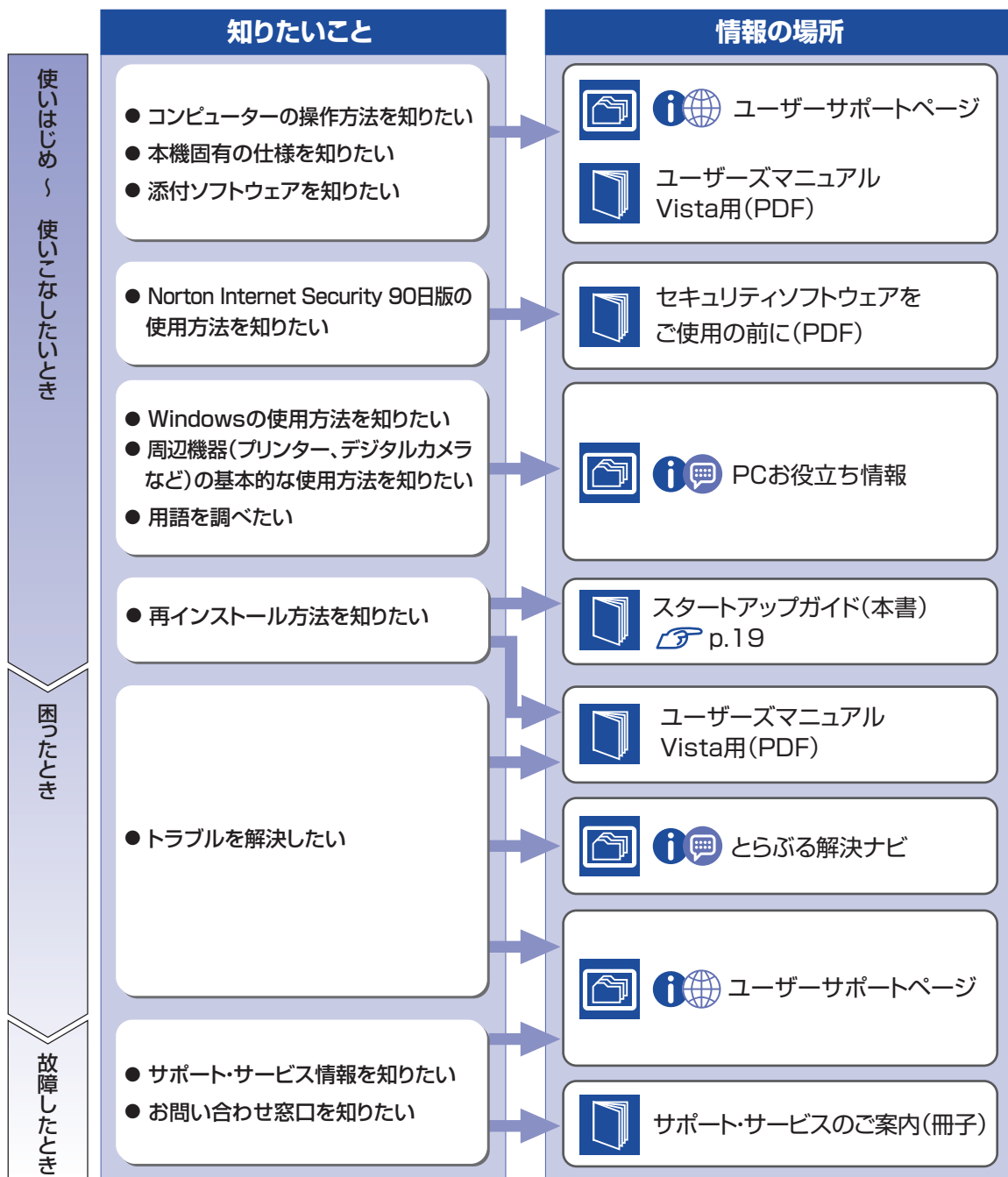
連休や旅行などで本機を長期間使用しないときは、安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。



本機を廃棄する場合は、法律に従って正しく処理してください。

情報マップ (知りたい情報はどこにある?)

本機に関する情報は、次の場所で見ることができます。



冊子や電子(PDF)のマニュアルです。

電子マニュアル(PDF)は、「インフォメーションメニュー」-「マニュアルびゅーわ」に収録されています。



コンピューターの画面で見る電子の情報です。電子の情報には次の2つがあります。



インフォメーションメニューの情報



ユーザーサポートページ(Web)の情報